

2014(平成26)年10月1日～3日

国際展示場「東京ビッグサイト」(有明)

- 出展社数は584社、来場者数は127,651人、分類別では、一般31%、福祉施設16%、販売業15%、在宅サービス11%、製造業10%となった
- 国際シンポジウム「ヨーロッパ諸国の認知症政策の現状を踏まえ、課題に挑む～認知症への理解拡大と日本の支援活動の充実のために」では、欧州各国で国家戦略が策定され、2013年12月には英国で「G8認知症サミット」が開催。世界的な共通課題である認知症政策のあり方を考察した
- ホームページにて福祉機器ガイドブック掲載の最新福祉機器約1,800点の情報を発信し、年間約1,614万件以上のページビュー、また「ご案内ミニ動画」にて会場の様子、主な新製品、イベントなどを紹介・告知して情報提供を行った

主催 全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会
 来場者数 127,651人
 出展社数 584社：海外14か国1地域54社、国内530社
 ◆東展示場 1～6ホール



[第41回 ポスター]

国際シンポジウム登壇者



ジョージ・リースン氏



服部安子氏



近藤純五郎氏



福祉機器開発最前線



高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー

▶ 2014年 日本が「障害者権利条約」に批准

国際シンポジウム

ヨーロッパ諸国の認知症政策の現状を踏まえ、課題に挑む
～認知症への理解拡大と日本の支援活動の充実のために

ジョージ・W・リースン氏

オックスフォード大学高齢者研究所副所長、同大学ケロッグカレッジ上級研究員、コペンハーゲン大学客員講師

服部安子氏 社会福祉法人浴風会浴風会ケアスクール校長

チューター 近藤純五郎氏 一般社団法人医療経済研究・社会保険福祉協会理事長、弁護士、元厚生労働事務次官

特別企画「高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー」

「旅を楽しむ「10のコツ!」と便利なグッズ展」開催、高齢者や障害のある人が楽しく旅に役立つコツ紹介と関係の約60点のグッズと出展社の製品の「旅に役立つグッズ」を移動、会話、食事や温泉など旅のシーンごとに展示
(企画・監修/共用品推進機構、運営協力/NTTクラリティ、高齢社)

「福祉機器開発最前線」省庁補助事業製品を中心に福祉開発最前線を展開

経済産業省のロボット介護機器開発・導入促進事業の対象製品10点、厚生労働省の障害者自立支援機器等開発促進事業の対象製品2点の計13を展示

- 字幕付き電話(字幕電話) 株式会社アイセック・ジャパン
- 分身ロボット”OriHime” 株式会社オリイ研究所
- 楽チン見守り「ラクミ〜マ」 株式会社スーパーリージョナル
- レーダーライト 株式会社CQ-Sネット
- 介護用HAL®(腰補助タイプ) CYBERDYNE株式会社
- ロボット介護機器評価ツール ロボット介護機器PJ基準策定・評価事業コンソーシアム 代表:(独)産業技術総合研究所
- カメラ組込み型画像認識システムを用いた見守りプラットフォーム 株式会社レイトロン
- みまもり支援システム 株式会社エイビス
- 電動歩行アシストカート RT.ワークス株式会社
- 電動ロータ「バンビ」(段差および凹凸対応の歩行支援器) 株式会社今仙技術研究所
- 移乗介助用サポートロボット 富士機械製造株式会社
- 〈居室設置型移動式水洗便器〉ベッドサイド水洗トイレ / 〈浴槽設置型入浴支援機器〉バスリフト TOTO株式会社

子ども広場で広げよう!!

「子どもの車いすトレーニング編」にて車いすの試乗やプレゼンテーション

- 1. 子ども用福祉機器の展示
学習機器・コミュニケーション機器、車いす、バギー・歩行器、食器、衣類、いす・カーシート等 約80点
- 2. 障害のある子どもに関する相談 [福祉機器相談、療育相談]
- 3. ひとやすみコーナー [休憩、保育士の常駐にて子育て相談を実施]
(協力/東京都社協保育士会)
- 4. 家のなかにはキケンがいっぱい! [発達障害のある子どもの安全対策ひと工夫コーナーにて相談を実施]
- 5. 子ども広場で広げよう!! [子どもの車いすトレーニング編にて車いすの試乗やプレゼンテーションを実施]